

## 1 はじめに

ビジネスライブラリアン講習会のワークショップの企画を考える際に、まず私の頭に浮かんだのは岐阜市の商店街でのマーケットの光景だった。普段は閑散としている商店街が、毎月この「サンデービルディングマーケット」の日ばかりは県内外から出店される洒落た店舗が並び、老若男女で賑わう。その一方で、既存の商店はただ通り過ぎられるだけの背景となっていた。これは「ブランド認知の取り組みが足りていない」<sup>1</sup> 結果なのではないかと考えた。賑わう店の価格は安くはなく、むしろ割高だった。それでも購入されるのは、商品そのものだけでなく、その背景やストーリーへの共感、また商品を選ぶ行為自体に付加価値があるからだと思われる。インフレが進む中、地方の小規模事業者が価格で勝負することは不可能だ。むしろ、「商品やサービスに、消費者が求める付加価値を与え、「選びたくなる理由」<sup>2</sup>を作り出す必要」がある。

2018年、経済産業省と特許庁は「デザイン経営宣言」<sup>3</sup>を発表し、デザイン経営によるブランド力とイノベーション力の向上が企業の競争力を高めるとし、「デザイン」の活用を推奨している。そこで、図書館でもデザインを活用したビジネス支援ができるのではないかと考えた。なお、ここでの「デザイン」の定義は以下のとおりとする。

### デザインの定義

経営のデザイン (ビジネスモデル、エコシステム)

広義のデザイン (ユーザー体験、製品/サービス全体)

狭義のデザイン

(意匠、ユーザーインターフェース等)

出所：経済産業省「第4次産業革命におけるデザイン等のクリエイティブの重要性及び具体的な施策検討に係る調査研究報告書」をもとに作成<sup>4</sup>

## 2 現状と課題

岐阜県は、白川郷や高山などの豊富な観光資源を背景に、外国人観光客から高い人気を誇っている。コロナ直前である2019年、外国人延べ宿泊者数は過去最多を更新し、全国12位<sup>5</sup>を記録した。刃物、和紙、木工、タイル、陶器などのモノづくりも盛んで、飛騨牛や富有柿などの自然条件を生かした農産物も豊富である。

しかし、地域ブランド調査によると、「2023年都道府県別魅力度ランキング」は39位<sup>6</sup>にとどまった。2022年度には、県内高校卒業者の約8割が県外の大学に進学した。その一方で、県外に進学した学生のUターン率は33%で、一度流出した人材が戻ってこないという状況<sup>7</sup>があり、学業や職業を理由とした10代から20代の県外流出が問題となっている。これは、岐阜県が多くの人から「行きたい」「暮らしたい」と選ばれるような「ブランド価値」を創造できていない結果なのではない

だろうか。

県としてもそのブランド価値の向上は重要な課題として捉えられている。「『清流の国ぎふ』創生総合戦略(2023~2027年度)」<sup>8</sup>の中では、「地域にあふれる魅力と活力づくり」を政策の柱のひとつと位置づけている。そして、地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信するために「『清流の国ぎふ』ブランドづくり」を目標に掲げ、デザイナーや専門家の助言、テストマーケティングを通じて商品開発やブラッシュアップを行い、ブランド力の向上を図るとしている。

### 3 事業の目的・概要

デザインの力を活用し、商品やサービスのリニューアルを模索している小規模事業主や創業予定者を対象に、事業のブランド価値を向上させる支援を提供する。さらに、当館が県立図書館であることから、まずは岐阜地区の事業者を対象にモデル事業として始め、将来的には各市町図書館と連携して県内での展開を目指す。

2023年7月に特許庁が発表した『中小企業のためのデザイン経営ハンドブック2 未来をひらくデザイン経営 知財』<sup>9</sup>では、先述した「デザイン経営宣言」<sup>3</sup>をさらに発展させ、デザイン経営を「人格形成」、「文化醸成」、「価値創造」の3つの循環するフレームで整理している。この中では、魅力的なプロダクトやサービスの創造といった「価値創造」だけでなく、「人格形成」と「文化醸成」も持続的な発展の土台として重視されている。今回はこの3つのフレームに基づいて、図書館で展開したい支援策を検討した。



出所：  
特許庁『中小企業のためのデザイン経営ハンドブック2 未来をひらく デザイン経営知財』(2023.7)

### 4 具体案

#### ■デザイン経営関連セミナーやワークショップの開催

国内でのデザイン経営の認知度はいまだ低い。<sup>10</sup> そのため、まずデザイン経営の意義や手法を広く伝えるためにセミナーやワークショップの開催が必要である。日本デザイン協会などのデザイン系専門機関にはデザインセミナーの講師紹介を依頼する。県よろず支援拠点や県産業経済振興センターや商工会議所、コンサルタントなどから県内でデザインを活用し実績を上げている経営者の紹介を依頼し、座談会を企画する。また、本事業広報についても協力を要請する。これらの事業をとおしてデザイン経営についての理解を深めた上で、参加者を以下の事業の紹介へとつなげていく。

#### ■個別レファレンス:デザイン経営フレーム「人格形成」の支援

図書館が所蔵する地域資料などを活用して、自社の譲れない価値観や個性、歴史を見つめ直すための支援を行う。これは、多様で豊富な資料を持つ図書館ならではのサポートといえる。また、デザインの外注する場合に参考となる資料の提供なども可能である。個別のレファレンスを通して明らかになった事業者の課題を踏まえてさらに以下のサポートにつなげる。

#### ■商用データベースの活用支援:デザイン経営フレーム「価値創造」の支援

MieNaなどを活用した商圈分析や、消費者ニーズ、業界動向情報の提供を行い、顧客のニーズに基づいた製品やサービスを提供するためのサポートを行う。既の実施している「商用データベース活用講座」や「女性のための起業セミナー」などの各種ビジネス支援講座の紹介も行う。

#### ■岐阜県図書館デジタルコレクション活用ワークショップの開催:「価値創造」「文化創造」の支援

「<sup>やがた</sup>地図の館」として知られる当館には、古地図はもちろん、明治から戦前にかけての写真を使った「郷土の絵はがき」や和古書のデジタルアーカイブ画像を一般に公開している。古地図や和古書には独特の色彩が美しくデザイン性が高いものも多い。これらをパッケージやモチーフとしてビジネスに活用したり、創作活動に利用し SNS で発信してもらうワークショップを開催する。併せて留意すべき著作権についての説明も行き、デジタルコレクションの二次利用の促進させる。

澤谷(2020)<sup>11</sup>はデジタルアーカイブ画像についても本と同様に「出会う機会を作っていくことが重要」と述べている。また、「利用者は、図書館の資源を「自分たちの財産」として育てて、新たな「地域資源」を生み出すことができるので、地域やその情報に対する愛着も湧く」としている。ワークショップによって岐阜県図書館のデジタルコレクションの認知度を高めるとともに、二次利用によって地域資源の発見や地域愛の広がりも目指す。

しかしながら、澤谷(2020)<sup>11</sup>はデジタルアーカイブ画像は内容からの検索がほぼできないため、検索性の乏しさも指摘している。<sup>11</sup> 図書館としては検索性を高めるために、各画像に詳細なキーワードを付与するなど検討していく必要がある。また、自館だけでなく大垣市図書館デジタルライブラリーや内藤記念くすり博物館所蔵品デジタルアーカイブといった県内デジタルアーカイブとの連携も視野に入れる必要がある。

## ■学生協働プロジェクトの実施:デザイン経営フレーム「文化醸成」の支援

図書館が学生協働とのつなぎ役となり、地域の企業と学生の連携を促進する。地域のモノづくりの姿勢を若い世代に伝えるとともに、新たなアイデアの創出や地域愛を育むこともできる。学生は実践的なビジネス課題に取り組みながら、リアルな経験を積むことも可能である。図書館としては協働の参考になる資料の提供などを行う。地域連携の様子は、動画撮影して記録する。デジタルコレクション活用ワークショップの紹介も行う。

### 連携の例

#### 1) 岐阜女子大学(家政学部生活科学科、健康栄養学科、文化創造学科)

自治体と連携して、空き家のリノベーションや観光拠点施設のリニューアル提案、仮想空間の構築、地域食材を活かした創作コラボレーション事業などを実施している。店舗のリニューアルやレシピの開発など、様々な連携が可能である。

#### 2) IAMAS 情報科学芸術大学院大学(先端的技術と芸術的創造を融合させた教育機関)

企業、学校、自治体、NPO など幅広い連携実績がある。店舗リニューアルや什器の設計、アプリやリニューアル前後のVR映像の製作などの多岐にわたる連携が可能である。

#### 3) 大垣女子短期大学(美術学科)

ロゴの製作やラッピングバスのデザインなどで自治体や企業と連携を実施している。ロゴやパッケージ、広告デザインなどでの連携も可能である。

#### 4) 岐阜県立森林文化アカデミー(森林・木材関連の人材育成目的にした2年制専門学校)

自治体と連携した古民家リノベーション事業の実績もある。店舗リニューアルや木製什器の設計などの連携も可能である。

#### 5) 県立高等学校

美術科、商業科、農業科の県立高校などとの連携も可能である。ワークショップへの参加依頼やロゴデザイン、レシピ開発などで連携もできる。高校生ビジネスプラン作成講座の紹介も行う。

## ■その他

- ・成果物や支援事例の紹介(館内でのパネル展示、記録動画の上映)
- ・デザイン経営をテーマにしたパスファインダーの作成
- ・デザインや経営に関連した図書リストの作成、図書展示
- ・専門家の紹介(よろず支援拠点、県産業経済振興センター、コンサルタントなど)

## 5 おわりに

最初は多くの人から選ばれる「ブランド価値」を創造するためには、いわゆる SNS 映えするような見た目に変えればよいのではないかと考えていた。しかし、山崎先生から「広義のデザイン」の視点を持つことをアドバイスいただき企画の幅を広げることができた。

デザイン経営は、人間を中心にした経営だという。その意味においても、人に寄り添って課題解決を支援している図書館とは親和性高いのではないだろうか。ビジネスライブラリアン講習のどの講師にも共通したメッセージは、「人とのつながりを大切にすること」「人に寄り添うこと」だったように思う。本当に県民が抱える課題解決に寄り添えているか、常に考えながらサービスを提供していきたい。

ビジネスライブラリアン講習会を振り返ると、ただ知識を得るだけではなく、自分自身の視野も広げることができたように思う。特に尊敬できる仲間との出会いは大きな刺激になるとともに、自分の強みについても知るきっかけとなった。

いつも親身に寄り添っていただいた山崎先生、古川アドバイザー、1 班のみなさん、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

### 【注】

- 1 島津英昌「第 23 回ビジネスライブラリアン講習会資料 ビジネス支援のための広報コミュニケーション講座～実際にサービスを利用していただくために～」(2024.2)
- 2 尾崎美穂／著『経営とデザインのかげ算』合同フォレスト,(2020.11)
- 3 特許庁・経済産業省「デザイン経営宣言」(2018.5)  
[01houkokusho.pdf \(jpo.go.jp\)](https://www.ihoukokusho.jp/) (2024 年5月7日確認)
- 4 株式会社三菱総合研究所, 経営コンサルティング事業本部「第4次産業革命におけるデザイン等のクリエイティブの重要性及び具体的な施策検討に係る調査研究報告書」2017.3  
[fy28\\_I4\\_creative\\_design.pdf \(meti.go.jp\)](https://www.meti.go.jp/fy28_I4_creative_design.pdf) (2024 年5月7日確認)
- 5 岐阜県観光局「岐阜県の観光状況について」(2020.8)  
[201685.pdf \(gifu.lg.jp\)](https://www.gifu.lg.jp/201685.pdf) (2024 年5月7日確認)
- 6 地域ブランド NEWS「地域ブランド調査 2023 都道府県の魅力度等調査結果」  
<https://news.tiiki.jp/articles/4854> (2024 年5月7日確認)
- 7 岐阜新聞 2023 年 5 月 30 日 朝刊岐阜全県・1 地方
- 8 岐阜県「幸せと確かな暮らしのある ふるさと岐阜県をともに目指して～「清流の国ぎふ」創生総合戦略(2023～2027 年度)～概要版」(2023.3)  
<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/350991.pdf> (2024 年5月7日確認)
- 9 特許庁「中小企業のためのデザイン経営ハンドブック2 未来をひらく デザイン経営 知財」

(2023.7) [chusho-handbook2\\_a3.pdf \(jpo.go.jp\)](#) (2024 年5月7日確認)

10 鷲田祐一／著『デザイン経営』有斐閣(2021.12)

11 澤谷 晃子／著「図書館資料のデジタルアーカイブとその活用を考える」『図書館界』2020, 72 巻, 3 号, p. 134-138

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/toshokankai/72/3/72\\_134/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/toshokankai/72/3/72_134/_article/-char/ja) (2024 年 5 月7日確認)

#### 参考資料

1 日本政府観光局 (JNTO)／日本の観光統計データ 2019 年 都道府県別訪問率ランキング (全体・全体) <https://statistics.jnto.go.jp/graph/#graph--inbound--prefecture--ranking> (2024 年5月7日確認)

2 東京都中小企業振興公社「デザイン活用ガイド 改訂版」(2022.7) [r5\\_guide\\_all\\_1.pdf \(tokyo-kosha.or.jp\)](#) (2024 年5月7日確認)

3 越前鯖江デザイン経営スクール [echizensabae-design.com](#) (2024 年5月7日確認)

4 特許庁デザイン経営プロジェクトチーム「中小企業のためのデザイン経営ハンドブック みんなのデザイン経営」(2021.5) [chusho-handbook.pdf \(jpo.go.jp\)](#) (2024 年5月7日確認)

5 「デジタルアーカイブ活動」のためのガイドライン」デジタルアーカイブジャパン推進委員会実務者検討委員会 (事務局 内閣府知的財産戦略推進事務局) (2023.9) [guideline\\_2023.pdf \(kantei.go.jp\)](#) (2024 年5月7日確認)

6 「ぶんかつブログ」(独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター)

[ColBase を活用しよう！企業での画像利用編 \(nich.go.jp\)](#) (2024 年5月7日確認)

7 ジャパンサーチ <https://jpsearch.go.jp/> (2024 年5月7日確認)

8 岐阜県図書館「デジタルコレクション」

<https://www.library.pref.gifu.lg.jp/find-books/digital-collection/> (2024 年5月7日確認)

9 大垣市立図書館「大垣市立図書館デジタルライブラリー」

<http://wsd.ocpl.ogaki.gifu.jp/webmuseum/db/> (2024 年5月7日確認)

10 内藤記念くすり博物館「所蔵品デジタルアーカイブ」

<https://www.eisai.co.jp/museum/information/facility/archive/index.html> (2024 年5月7日確認)